

会 議 録

会 議 名	令和元年度 嵐山町総合戦略検証委員会					
開 催 日 時	令和元年7月23日（火）		開 会	14時00分		
			閉 会	16時10分		
開 催 場 所	嵐山町役場 町民ホール					
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 会長の選任について (2) 会議録署名人の任命について (3) 嵐山町総合戦略の検証について (4) 次期総合戦略の策定について (5) その他 4 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数	0人		
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	権田 活一	出	委 員	佐藤 輝武	欠
	副会長	高坂 英夫	出	委 員	新井 進	出
	委 員	伊藤 武雄	出	委 員	鹿倉 貞二	欠
	委 員	小澤 秀	出	委 員	荒井 忠正	出
	委 員	松本 勉	欠	委 員	松本 千絵	欠
	委 員	久保田 尚	欠	委 員	青木 裕子	出
	委 員	山田 朋美	出	委 員	宮本 紀子	出
	委 員	松村 克彦	出	委 員	田中 操	出
	岩澤町長					
事 務 局	地域支援課長 山岸 堅護		地域支援課主任 村田 佑介			
	地域支援課副課長 青木 正志					
	地域支援課主席主査 藤野 広之					

次 第	顛 末 (要点筆記)
1 開 会	山岸地域支援課長
2 あいさつ	<p>(岩澤町長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報社会の流れが大きく変化している昨今、嵐山町としても、この流れをうまく活用することで、町の活性化をさらに進めていけると感じています。新しい総合振興計画の策定も控えている中で、委員の皆様からは今までの総括も含め、色々なご提言を頂ければと思います。
委員紹介 事務局紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員より自己紹介を行った。 ・事務局の紹介を行った。
3 議 題	<p>(1) 会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長であった内田区長会長が退任された。次期会長が決定するまでの間、副会長が議事の進行を行う。 ・副会長より、会長の互選を諮る。 <p>(副会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでと同じく区長会長が会長を務める選任方法でよいか。 <p>(異議無く了承される)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権田区長会長が会長に選任される。 ・権田新会長より挨拶を頂いた。 <p>(町長が他の公務のため退席)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権田会長が議長となり、議事の進行を行う。 <p>(2) 会議録の署名人の任命について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、前回までに名簿順でお願いしており、引き続き同様にしたいとの説明を行う。荒井委員と宮本委員を議事録署名人として決定した。 <p>(3) 嵐山町総合戦略の検証と今後の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より資料 1～4 について説明を行った。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問を受ける前に、本日欠席された久保田先生より、ご意見を頂いていますので、読み上げさせていただきます。 <p>『お送り頂いた資料を拝読しました。よい成果が上がっている事業がある一方で、なかなか苦しいものもあるようですね。課題については、ご指摘いただいている通りだと思った次第です。』とのこと</p>

また、同じく本日欠席された松本委員からもご意見をいただいております、お手元にも配布させていただいておりますが、一部読み上げさせていただきます。

『千年の苑ラベンダー園については、学校の社会科見学に組み込んでもおもしろいと思います。嵐山町を誇りに思う子供たちが増えると思います。また、バーベキュー場とラベンダー畑を連携させた来場者用ポイントカードを作成するのはどうでしょうか。ポイントをためるとバーベキュー用のお肉をプレゼントするなど面白いと思います。定住促進については、光熱費を一部補助するなどし、まずは嵐山町で生活してもらうことが先決だと思います。町に興味を持っていただいた方を対象に町的生活スタイルを案内できるボランティアがあると良いのではないのでしょうか。』以上です。

(権田会長)

・何かご意見がありますか。

—意見無し—

・それでは検証結果の内容について、項目順に意見を伺いたいと思います。項目1「雇用をつくる」について何かありますか。

(事務局補足)

・項目1の達成率が低い指標、ラベンダーの手芸施設などはまだ事業が始まったばかりで実績値が低いという事情があります。また、同様に地産地消食堂についても低い状況です。

(宮本委員)

・女性の就労支援について待機児童が減少しているのはなぜか。

(事務局)

・若草保育園の小規模保育園や東昌第2保育園が新たに移設開園したことで、待機児童の減少に繋がりました。ただ、待機児童を0にするには保育士の確保も課題です。また「ここの保育園に通わせたい」などの希望が通らなかった方も待機児童となってしまうという点では、働く意欲のある女性の就労支援について、直接的な数値を表せているわけではないというところはあります。

(小澤委員)

・めんこ61の費用対効果について、もう少し事業展開を考えてはどうか？また、千年の苑ラベンダー園の大型車両駐車場の場所も利用しづらい場所があるので手芸施設の南側に整備してはどうか？

(事務局)

・めんこ61の店舗は現在仮設での営業となっており、検証結果にもあるように暑さ対策が課題となっています。

・手芸施設の南側は牧草地であり、農地であるため、その点では農業委

員の委員さんもいらっしゃる、ご存じとは思いますが、農地法も含めて対応が難しいと思います。千年の苑ラベンダー園については、開園したばかりということもあり、また運営主体を今後どうしていくかを検討している段階でもあります。ご質問いただいた点も今後検討されていくものと思います。

(荒井委員)

- ・空き家対策について、すぐ活用できる空き家は少ないと思う。今ある空き家を使い、費用をかけずに利活用できる術もある。高齢者の居場所作りなどで活用している例もある。

(事務局)

- ・空き家問題は全国的な問題であり、空き家対策措置法により特定空き家という指定もできるようになりました。緊急で危険な空き家については全庁で対応を考える体制となっています。また、空き家を活用した居場所作りとして社協でも事業を考えていただいています。町としても何らかの支援を続けていかなければいけないと考えています。

(会長)

- ・ラベンダー園については今年度より本格オープンとなったが、産業界の方で、実際に運営に携わった方のご意見などあれば伺いたい。

(高坂副会長)

- ・農地であるため規制があり、何をやるにも手間とお金がかかる。町はそのあたりの規制解除などの方向にもってってもらいたい。

(事務局)

- ・農地の有効利用ということで始まったこともあり、また、観光事業としても進めているなかでは、自由に活用していくのには難しい部分があります。一つの考えとしては、特区のような方策もあるかもしれません。

(会長)

- ・項目2「人の流れをつくる」について何かありますか。

(田中委員)

- ・ゆるキャラ人気も落ち着いてきたなかで、むさし嵐丸によるアピールからSNSによるアピールへシフトしてはどうか。小川町は商工会でSNSの更新頻度を増やすなどでアピールしている。また、ゆるキャラグランプリでむさし嵐丸のランキングが56位とあるが全体数はいくらか？課題にスタッフの充実とあるが、役場職員ということか、ボランティアスタッフということか。

(事務局)

- ・約500キャラと聞いています。また、グランプリ自体も終了するような話もあるようなので、先ほど頂いた情報発信の手法につきまして、担当課と検討していきたいと思います。嵐丸のスタッフにつつま

しては、有償ボランティアで対応していますが、イベントへの移動等や手続きは町職員で対応しています。また有償ボランティアの方についても仕事を持ちながらやっただいているのでどうしても制約は出てきてしまいます。イベントの時期も繁忙期が重なることもあり、人手が足らなくなってしまう。

(田中委員)

- ・嵐丸のSNS更新は誰がやっているのか。

(事務局)

- ・観光協会と町とで行っていますが、現状はなかなか更新ができていません。

- ・SNSによる情報発信はとても重要なもので、実際に国政の選挙等で結果が出ているものもあります。情報発信については地域支援課が担当となりますが、情報発信担当の職員は、日々の庁内システム管理や、各種要望、総合振興計画策定など兼務が多く、議会でも話が出ていましたが、将来的には情報発信部署を作るなどの対応が必要な現状です。

(会長)

- ・項目3「安心して結婚・出産・子育てができる社会をつくる」について何かありますか。

(青木委員)

- ・ふるさと回帰センターで開催された移住・就農相談会で転入に繋がったケースもあったようで、色々な場を利用し、多くの方を巻き込んでいくのはいかがか。

(事務局)

- ・相談会では、移住を希望している方の多くは定年退職後の方で、就業に繋がるような希望者は少ないのが現状でした。こういった場に参加することは重要であります。人づてに話を広げていくなかで移住に繋げていくことも大切なのかと感じました。

(青木委員)

- ・駅前通りにあったボックスショップなども女性からは人気があった。駅前の嵐なびのお土産の種類も少ない。道の駅などあるとついつい寄ってしまう。お土産になるものも色々考えていくのも必要だと思う。

(会長)

- ・項目4「住みよい環境をつくる」とあわせて、全体の総括も含めてご意見を頂きたい。何かありますか。

(宮本委員)

- ・全体として意見がよくまとまっていると感じた。課題の部分については、より具体的な方策が示されれば課題達成への道筋が見えてくると思う。組織全体として同じ目標に向かい意思統一することで、次期総

合戦略の策定もより有意義なものとなるのではと思う。

(会長)

- ・目標の共有は重要なことかと思う。次の計画に生かしていただきたい。

(山田委員)

- ・宮本委員と同じく役場内での問題の共有は重要である。項目3に関してだが、世の中の風潮では独り身が楽であるとか、晩婚化の進展など、小さなころからの教育で家庭を築いていくことの大切さも学んでいけたらと思う。町内の里山については、大変貴重な環境となっており、珍しい虫などの生息地でもある。町外からの評判も高い。工業団地等の開発も重要であるが、そういった里山保全も大事にしていけたらと思う。また、先ほど話のあった情報社会の進展は本当に目まぐるしく、大変な時代である。少しでも疎かにすると取り残されてしまう。そういった意味でも、情報分野の専門家を雇っていただく等、ぜひ町長に進言していただきたい。

(事務局)

- ・今回の検証結果の「効果があったこと」や「課題となっていること」は担当課ですべて作成しているものです。今回の内容につきましてもフィードバックしていきたいと思います。

(宮本委員)

- ・ラベンダー園については国庫補助もあって整備されたものと伺っている。この素晴らしいラベンダー園をどう運営していくかが今後重要である。駐車場の整備について他の委員さんから意見があったように、多くの方に来場していただくには利用者の視点で進めていかななくてはならない。農地ではあるが、人が集う場所という観点からも、長い目線で、規制を変えていければより素晴らしい整備ができると思う。

(会長)

- ・今後の運営の事業化はどうなっているのか。

(事務局)

- ・主体事業者が今は決まっていません。町で検討はしていますが、ラベンダー園単独で事業主体を作るのは難しく、観光協会や交通、地元の事業者も含め、検討しなくてははいけません。今後、より深めていかなければいけない部分であります。

—その他の意見無し—

(4) 次期総合戦略の策定について

- ・事務局より次期総合戦略について資料をもとに説明を行った。

(事務局)

- ・以上のように、次期総合戦略については現在の第1期を1年間延長し、

	<p>次期第6次総合振興計画とあわせて策定していくということによろしいでしょうか。</p> <p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何かご意見がありますか。 <p>—意見無し—</p> <p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見がないようですので、この議題については了承されました。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の方針にもよりますが、年度内にまた延長分のご意見を伺うこともあるかと思えます。その際にはよろしくおねがいします。 <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より委員報償について説明を行った。 <p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、議題は全て終了しましたので、議長の座を下ろさせていただきます。
4 閉会	高坂副会長
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和元年8月16日 署名委員 <u>荒井忠正</u></p> <p>令和元年8月20日 署名委員 <u>宮本紀子</u></p>	